

普及活動情勢報告（令和8年3月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

次の生産に活かそう！ ～J A高知市三里園芸部花卉部会の勉強会～



勉強会の様子

2月26日に、J A高知市三里園芸出荷場にて、J A高知市三里園芸部花卉部会が勉強会を開催し、生産者10名が参加しました。

勉強会では、関係機関から近年発生が増加している害虫を中心とした防除対策などについて説明があり、普及所からは、環境データを活用した栽培管理について、事例を紹介しました。

生産者からは「球根の肥大には、日射量や地温が関係しているのか」といった意見がありました。

今後も普及所は、関係機関と連携して生産者の課題に寄り添った情報を共有するとともに、収量や品質向上を支援していきます。

安全な加工品を製造するために ～J A高知市女性部H A C C P研修会～



手洗いについて説明する
普及指導員

3月2日に、J A高知市で農産加工を行う女性部部員に対するH A C C P研修会を開催し、部員と関係機関合わせて42名が参加しました。

普及所から、食中毒の原因と対策やH A C C Pの考え方と実践、小規模事業者向けの手引書などを説明しました。

参加者は衛生管理の注意点について熱心に聞き、また自分たちの加工工程や設備と照らし合わせて衛生管理を確認していました。

普及所は、今後も6次産業化に取り組む生産者を支援していきます。

天敵を使ったI P M技術で持続可能な農業へ ～高糖度トマト現地検討会～



現地検討会の様子

3月10日に、J A春野トマト部会の高糖度トマト現地検討会が開催されました。

普及所からは、薬剤防除が困難になっているコナジラミ類の防除方法として天敵に興味をもつ生産者が増えたため、春野で行った天敵防除の実証結果を周知しました。

生産者からは「上手くいった年もあるが、暑さの影響かタバコカスミカメが増えにくい」と、現状のやり方では上手くいっていない声がありました。

普及所は、今後もI P M技術の普及に向けて生産者の課題解決に取り組み、持続可能な農業を目指します。